

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「スパイダー蓮浄院ボクシングジム」

ボクシング元日本フェザー級チャンピオンで、通算14度防衛の記録を持つスパイダー根本氏が会長となり、平成22年4月に芝新町に開設された「スパイダー蓮浄院ボクシングジム」。ボクサーの育成のみならず、夏休み期間中には、寺子屋ジムとして、勉強とともにボクシングを通じて子どもたちに痛みや思いやりを教え、人間教育にも力を入れる川口唯一のプロボクシングジムを岡村市長が訪問し、活動内容などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。7月に入り暑さが増してきましたが、節電に心がけ、過ごしやすい服装でこの夏を乗り切ってくださいと思います。さて、今月の市長のふれあい訪問は、「スパイダー蓮浄院ボクシングジム」のみなさんです。どうぞよろしくお願ひします。

会長の根本さんは、スパイダー根本として、フェザー級で日本チャンピオンを13回連続防衛し通算14回防衛しましたよね。

根本 はい。当時は、負けられない気持ちが強くて、いつもがけつぷち立たされている感じでしたね。

市長 いい思い出ですね。ところで、どのような経緯で川口にボクシングジムを設立されたのですか。

根本 このジムのオーナーである齋藤代表が埼玉県の教育委員会にジム設立の相談に行ったところ、当時草加市に勤務していた私が紹介を受け、平成22年4月に開設しました。



市長 齋藤代表はなぜジムを開設しようと思ったのですか。

齋藤 会社を経営していますが、スポーツで得た気力や体力などがあつたからこそ、今があるという思いがあります。そこで、スポーツを通じて地域の人のためになることをしたいと思いボクシングジムを開設しました。

夢を持ち、夢へ向って努力し、仲間を大切にし、先輩を敬う。ここでそうしたことを学んでいただければと考えています。

市長 プロを育成するボクシングジムは、市内でどれくらいあるのですか。

根本 市内はもちろん県南でも、このジムだけです。練習生は140人いますが、その内プロを目指

している練習生は30人くらいです。あとは幼児や小学生、そのほかに健康づくりで通う人、特に35歳以上の人が多いですね。

市長 ここは単なるボクシングジムではなく、川口さんが塾長となり、夏休みに子どもたちの学習教室を開いていると伺いましたが。

川口 はい。「夏休み学習教室&スパイダーナックル体験教室」を無料で開催します。ジムで夏休みの宿題などを2時間行い、1時間は運動をさせます。

市長 このジムの中で開くのですか。

川口 ジム内にマットを引き、長机を出して勉強します。指導は、教員のOBなどボランティアが行っています。

市長 何人くらい参加しますか。

根本 毎日20人から30人くらいでしょうか。子ども都合で出席できるようにしています。

市長 子どもたちの様子はどうですか。

川口 みな生き生きしています。一人で学習するより、つまずいたときに教えてくれる先生がいる、その都度わからないうところを解決できますから学習する力がつきます。

市長 勉強の後はボクシングになるのですか。

齋藤 勉強が終わると

すぐリングに入って大騒ぎです。ボクシングをやったことがない子どもがほとんどですが、動きを教えてあげれば、すぐ覚えてくれます。もちろん、リング以外で他人に拳を向けることは禁じています。

根本 ここに来た子どもたちには、今日ボクシングができること、ご飯を食べられることなど、日々の暮らしに感謝することの大切さを教えています。

市長 やはり日本人が本来持つ、公を大切に、迷惑をかける、感謝の気持ちを持つことを教えるのが教育の基本です。これからもボクシングを通じて教えてもらえたらと思います。

根本 はい。これからも頑張っていきたいと思ひます。

市長 今日はどうもありがとうございました。

